

平成28年度事業報告書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人開高健記念会

〔事業概要〕

当法人は、定款に定めた「故・開高健の文学作品の普遍性と多面的な活動を広く後世に伝え、顕彰するために、啓蒙、普及、支援等の活動を行い、日本文学の振興に寄与する。」という目的を達するため、本年も開高健記念館の運営・管理および開高健記念文庫を立ち上げるための下記事業を行った。また、理事会の開催状況は、下記の通りである。

〔事業の状況〕

(1) 開高健記念館の運営・管理

例年通り、茅ヶ崎市からの委託を受け、開高健記念館の運営・管理を行い、開設以来15年目を迎えた。

常設展示に加え、平成28年4月29日から9月25日に「わが愛する妻よ！一開高健からの手紙」展、10月1日から平成29年3月26日に「開高健、茅ヶ崎に棲む一マエストロの仕事場」展の年2回の特別展示を開催した。

「読売新聞」「神奈川新聞」「東京新聞」「ふれあい朝日」などをはじめとして、メディアにも数多く紹介され、来館者の層にも広がりがみられた。

入館料は開館以来、無料としてきたが、茅ヶ崎市の方針により、10月1日から隣の茅ヶ崎ゆかりの人物館とともに有料化に踏み切った（単館200円、両館で300円）。

例年同様、毎月最終日曜日に、当法人の理事によるギャラリートークを実施した。

(2) 開高健記念文庫の運営・管理

平成28年秋を目途に開高健記念文庫の開設を目指したが、記念文庫として未永く一般に公開、閲覧していただくことを考慮に入れ、慎重かつ十全な準備が必要であるとの認識を基に、施設の整備や資料等の整理を中心に進めてきた。いよいよ今年中には、「開高健記念文庫」としてスタートする。

(3) 開高健の文学作品と活動を普及するためのセミナー等事業

福岡市博物館で「釣道楽の世界—多彩なる水の趣味文化」展（平成28年9月17日～11月6日）が開催された。当法人としては、開高健の釣り道具や蔵書など25点を貸し出した。空前の規模を誇る展覧会と注目を集めた。

平成28年12月9日、日本プレスセンタービル・アラスカで、ノンフィクション作家の高山文彦氏による「私の中の開高健」の講演会を実施。

同日、「マラス—暴力に支配される少年たち」で第14回開高健ノンフィクション賞（主催・集英社）を受賞した工藤律子氏に、記念品として当法人が刊行した「特別限定愛蔵版 直筆原稿『夏の闇』」を進呈した。

また、開高健に関する情報は、適宜、ホームページや記念館等で告知した。

(4) 開高健の文学作品と活動を普及するための啓蒙書籍等の販売

例年通り開高健記念館内で、開高健をより深く知るための啓蒙書籍等を販売。雑誌「SINRA 1月号」(平成28年11月発売)で「開高健—わが人生、酒と食の冒険」の特集が組まれ、記念館でも販売、好評だった。

(5) 開高健に関する資料の収集・保存・研究

開高健記念館、事務所内の資料の整備を実施するとともに、記念文庫を立ち上げるための資料の収集を続行した。

理事会等における審議事項等

日 時	内 容
平成28年4月19日	理事会 ・事業実施に係る報告等
平成28年5月17日	理事会 ・平成27年度事業報告及び計算書類の承認 ・業務執行理事による職務執行状況報告
平成28年6月21日	評議員会 ・平成27年度事業報告及び計算書類の承認
平成28年7月19日	理事会 ・事業実施に係る報告等
平成28年9月14日	理事会 ・事業実施に係る報告等
平成28年10月18日	理事会 ・事業実施に係る報告等
平成28年11月8日	評議員会 ・事業実施に係る報告等
平成29年1月17日	理事会 ・業務執行理事による職務執行状況報告
平成29年2月21日	理事会 ・事業実施に係る報告等
平成29年3月21日	理事会 ・平成29年度事業計画・予算案・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認